

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【公開番号】特開2009-14517(P2009-14517A)

【公開日】平成21年1月22日(2009.1.22)

【年通号数】公開・登録公報2009-003

【出願番号】特願2007-176695(P2007-176695)

【国際特許分類】

G 0 1 B 5/20 (2006.01)

G 0 2 C 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 B 5/20 C

G 0 2 C 13/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月29日(2010.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フレーム保持機構に所期する状態に保持された眼鏡フレームのレンズ枠に対して相対的に回転される基台に備えられた測定子を有し、測定子をレンズ枠の溝に沿って移動させて、測定子の移動を検知手段により検知することに基づいて、レンズ枠の三次元形状を測定する玉型形状測定装置において、

前記基台に支持された第 1 支点を中心にして上下方向に回転可能に配置された第 1 アームと、前記第 1 アームの第 1 支点から離れた位置に設けられた第 2 支点を中心にしてレンズ枠の動径方向に回転可能に配置された第 2 アームと、前記第 2 アームの先端側に上方向に延びるように配置された支持軸であって、第 2 支点を中心にした円弧軌跡の略接線方向に向くように前記測定子を取り付けられた支持軸と、を備えることを特徴とする玉型形状測定装置。

【請求項 2】

請求項 1 の玉型形状測定装置において、前記測定子にレンズ枠溝に押し当てる測定圧を付与するために前記第 2 支点を中心に前記第 2 アームをレンズ枠溝方向に付勢する測定圧付与手段を備えることを特徴とする玉型形状測定装置。

【請求項 3】

請求項 2 の玉型形状測定装置において、前記第 1 支点に対する第 1 アームの質量的なバランスを取り、且つ前記測定圧付与手段により測定圧が与えられる方向に対して垂直な方向の前記第 1 支点から前記測定子の先端までの距離と前記測定圧との積から得られる力のモーメントを略キャンセルする荷重が調整された上下動バランス機構を備えることを特徴とする玉型形状測定装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

( 1 ) フレーム保持機構に所期する状態に保持された眼鏡フレームのレンズ枠に対して相対的に回転される基台に備えられた測定子を有し、測定子をレンズ枠の溝に沿って移動させて、測定子の移動を検知手段により検知することに基づいて、レンズ枠の三次元形状を測定する玉型形状測定装置において、前記基台に支持された第 1 支点を中心にして上下方向に回転可能に配置された第 1 アームと、前記第 1 アームの第 1 支点から離れた位置に設けられた第 2 支点を中心にしてレンズ枠の動径方向に回転可能に配置された第 2 アームと、前記第 2 アームの先端側に上方向に延びるように配置された支持軸であって、第 2 支点を中心にした円弧軌跡の略接線方向に向くように前記測定子を取り付けられた支持軸と、を備えることを特徴とする。

( 2 ) ( 1 ) の玉型形状測定装置において、前記測定子にレンズ枠溝に押し当てる測定圧を付与するために前記第 2 支点を中心に前記第 2 アームをレンズ枠溝方向に付勢する測定圧付与手段を備えることを特徴とする。

( 3 ) ( 2 ) の玉型形状測定装置において、前記第 1 支点に対する第 1 アームの質量的なバランスを取り、且つ前記測定圧付与手段により測定圧が与えられる方向に対して垂直な方向の前記第 1 支点から前記測定子の先端までの距離と前記測定圧との積から得られる力のモーメントを略キャンセルする荷重が調整された上下動バランス機構を備えることを特徴とする。